

# 中国人強制連行受難者追悼会に参加して

委員長 中村吉政

十月二十九日の土曜日、

TPP強行採決を許さないとして緊急に集会が行われた日、同時刻に天保山公園にある「大阪中国人強制連行受難者追悼記念碑」の一角で追悼集会が行われました。

今年で十九回目、この場所では二〇〇五年から開催されています。場所は大阪市が管理する公園の一角で、碑は中国大陸の方角に据えられ、日中友好の碑「彰往察来」と刻まれています。

碑には次のように彫ら

れています。

先の戦争において、たとえ戦時下という異常な状況の中とはいえ、多くの中国人が日本国内の鉱山や港湾などにおいて、厳しい労務の中で多くの苦難を与えられました。

ここ大阪においても、「日本へ強制連行され、大阪で荷役を強いられた」といった体験者の証言もあり、また「華人労務者就労事情調査報告書（外務省報告書）において、千人を超える中国人のうち八十人を超える方が、

港湾荷役労務などの中で、再び祖国へ帰ることなく亡くなっている事が明らかにになりました。

われわれが心に深く刻みつけて忘れてはならないことは、過去の歴史を教訓として学び、未来を望んで、人類社会の平和と繁栄への道を誤らない事です。

この歴史的事実を厳粛に受け止めて、戦争の悲惨さを語り継ぎ、国籍・民族・文化等の違いを超えた相互理解と友好を深め、永遠の世界平和を心



から願う気持ちを込めて、ここに日中友好の記念碑を設置します。と刻まれています。「彰往察来」とは「過去をあきらかにし、未来を察する」ということで、平たく言えば歴史を鑑として未来に向かおうという意味です。安倍は、安保関連法に基づく新任務「駆けつけ警

護」部隊を選任して近日中には派遣するようです。

『駆けつけ警護』とは武装勢力などに襲われた国連やNGO要員らを武器を持って助けに行く任

ポケモンGOに占領された公園

誰もが自由に出入りできる公園の中とはいえ、

石碑があるという場所は、普通の感覚からいえば、墓地か、いわれのある場所ですが、今年の夏から、公園はポケモンの聖地と

され、平日はともかく、土日は数千人の人が訪れている名所地になっています。

例年の追悼会は、静かな環境のなかで行われてきましたが、今年はまる

務であり、これまでにな

いリスクが発生します。今こそ、「彰往察来」。戦争行為はやめろと声を上げましょう。

で心齋橋筋で追悼会を行っているような人の多さ。

本当に老若男女、子ども連れ、カップル、圧倒的にひとりで歩いている人が多いです。

我が家の子どもから、天保山公園や八幡屋公園が大阪市内の中でも「レアなモンスターが出没する場所」と聞いてはいた

のですが、これ程に多いとはビックリボンです。手はスマホ、耳にはイ

ヤホーンを差し、ひたすら下向きで動く様は異様にしか私には映りません。

公園の中では、特段事故に会う事もないので何しても構いませんが、石碑のある三畳ほどの場所は歩かないでほしいと思いました。

大阪港は戦争前、日本でもトップの貿易港として栄えていましたが、太平洋戦争に入ると、アジア侵略の港に様変わりし、公園一帯の地区は、日本

中から兵隊や軍馬、武器が運ばれ、兵站基地となっていたところでした。

高射砲の陣地や馬小屋、軍需工場が港に面して稼働していたために空襲の

標的となったのです。追悼の対象となっている中国人は、外務省の資料で見ると、一三〇〇人余、一九四三年八月が一回目の船で都合六回に渡って連行されてきています。亡くなった人の多くは、事業場死亡となっているのは、大阪大空襲の犠牲になったのだと思われま

す。

長年に渡り運動を続けている先輩には、有元幹明さん、違憲訴訟で尽力いただいている冠木弁護士等、労働運動や市民運動を牽引している諸先輩の想いを受け継ぎながら、平和の為に闘わねばと改めて感じた次第です。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！